

「持続可能な医療保険制度を目指して」

| 第10回 | 協会けんぽ

調査研究 フォーラム

The 10th Annual Forum of Health Insurance Research

2024.5.30 木

10:00~16:05 (受付9:30~)

【会場】一橋大学 一橋講堂

参加無料
(事前申込み制)

YouTube
ライブ・アーカイブ
配信予定

プログラム

午前の部 10:00~11:30

10:00 開会挨拶

10:10 委託研究Ⅲ期中間報告

コメンテーター：慶應義塾大学 岡村 智教 教授
(全国健康保険協会理事)

東京大学 井出 博生 特任准教授
「協会けんぽにおける今後の保健事業等の基盤整備を目指した調査分析」

秋田大学 野村 恭子 教授
「就労女性の性に関連する健康と労働生産性の実証研究」

上智大学 中村 さやか 教授
「患者・供給者の行動変容と保険者機能強化による医療サービスの効率化」

京都大学 福岡 真悟 准教授
「保健事業による健康アウトカムを改善するための行動インサイト：因果探索の応用」

午後の部 13:00~16:05

13:00 協会けんぽ調査研究報告

講評：産業医科大学 村松 圭司 准教授
・大阪支部「レセプトを活用したがん検診の精密検査受診勧奨」
・岡山支部「糖尿病非該当から予備群及び治療域への10年間の追跡」
・広島支部「メンタルヘルス対策に関する事業所実態調査」

14:00 委託研究Ⅱ期中間報告

コメンテーター：慶應義塾大学 後藤 励 教授

摂南大学 小川 俊夫 教授
「生活習慣病の疾病別医療費の地域差に関する研究」

東北大学 藤井 進 准教授
「支部単位保険料率の背景にある医療費の地域差の要因に関する研究」

岩手医科大学 丹野 高三 教授
「機械学習を用いた生活習慣病の治療行動予測モデルの構築」

東京大学 飯塚 敏晃 教授
「予防医療が本人と家族に及ぼす効果に関する研究」

京都大学 井上 浩輔 特定准教授
「メンタル疾患・生活習慣病の発症リスク削減、医療費適正化に向けた機械学習予測モデルの構築と因果推論」

16:00 閉会挨拶